

## [028]九州大学教育社会学研究集録表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7325622>

---

出版情報：九州大学教育社会学研究集録. 28, 2024-09-15. Seminar of Educational Sociology  
Department of Education, Graduate School of Human-Environment Studies Kyushu University  
バージョン：  
権利関係：



## 第9回三大学合同ゼミ 兼 第100回九州教育社会学研究交流セミナー 報告

2024年3月24日、「第9回三大学合同ゼミ」兼「第100回九州教育社会学研究交流セミナー」が九州大学西新プラザにて開催された。三大学ゼミとは、筑波大学の田中正弘研究室、名古屋大学の丸山和昭研究室と合同で行う研究交流セミナーである。今回は、九州大学、筑波大学、名古屋大学の学生計9名が研究発表を行い、議論が交わされた。また、修士論文・卒業論文発表に関しては、コメンテーターとして教員や博士課程の学生からコメントがなされた。当日の参加者は対面で33名、オンラインで15名の計48名であった。本記録の最後に、当日のプログラムを記す。なお、所属等は本セミナー実施時のものである。

合同ゼミ全体において、2つのことを大いに感じ取った。一つはそれぞれの研究に向かう姿勢、一つは研究者同士の交流の効果である。

1点目に関して、発表者の方々のご自身の研究への姿勢とは、興味を探求すること、問題関心を解き明かそうと着実に調査や分析を積むこと、そして、研究者ご自身のこだわりや信念である。このような興味や問題意識・信念が、研究のオリジナリティや独自の視点のような成果となるのだと思った。このパーソナルな思考や経験に加えて、精緻に丁寧に調査し分析し、わかりやすく論文や発表の形で伝えられることで、研究が高度で練られたものになるのだと考えた。また、コメンテーターや質疑応答においては、研究者の文脈に沿いながら自身の視点を照らし合わせ、研究が深まるようなご指摘が飛び交った。筆者も数回質問や発言をし、思考の簡潔な言語化を試みたが、研究を概観することと研究者の文脈を十分に理解することに難儀した。合同ゼミ参加者の皆さんのような示唆深い指摘ができるためには、社会学の基本的な知識を身につけ応用し、論文を精読して構造的に捉え、浮かび上がる考えを伝わりやすいように発言することが必要だ。今後の研究活動を通してこのような要素を身につけたい。

2点目に関して、会の結びの言葉の中で筑波大学の田中先生は「研究者ネットワークが大事」とまとめられた。研究者各々の研究の専門は完全一致しない。しかし、だからこそ、論理的思考のような「研究に対する考え方」とそれぞれの研究への「専門性」の掛け合わせによる視点は、他の研究者にとって新たな気づきとなるの

だろうと推測する。現在の研究の質向上のみならず、数年後協働する可能性のある同志との出会いとしても大切な機会だった。学術の世界での交流が有意義であったと思うと同時に、この機会をさらに実りあるものとなるよう将来に繋げられたらと思う。

今回三大学合同ゼミに初めて参加し、発表や交流を聞いて受け身で恩恵をもらうのみでなく、自分もどなたかにとってよい刺激となるように精進したいと思った。今回の合同ゼミのような示唆深い研究と質疑応答の場に参加させていただける自分の置かれる環境に感謝をしたい。

最後に、本ゼミ・セミナーの開催にあたっての関係者の皆さまにお礼申し上げます。

（文責：九州大学教育学部3年 山下胡春）

＜プログラム（敬称略）＞

1.[修士論文発表](九州大学)陣内未来(M2)「B. Bernsteinの言語コード論と社会関係資本論の関係性を巡る計量社会学研究—N. Linの地位想起法へのスパース主成分分析の適用」コメンテーター:菊地原守さん(D2、名古屋大学)

2.[卒業論文発表](名古屋大学)浜田優希也(B4)「なぜ万人に開かれた高等教育が必要なのか—自律を追求する高等教育権理論の意義と課題」コメンテーター:木村拓也(教員、九州大学/大学入試センター)

3.[卒業論文発表](筑波大学)佐久田幸空(B4)「「大学における性教育」の「実践」が果たす機能と課題—性教育に関連する授業科目と担当教員の語りに着目して—」コメンテーター:田中裕史(D2、名古屋大学)

4.[自由研究発表](筑波大学)森野かおり(D1)「音楽科教師の教員養成課程における演奏科目での学び—演奏経験の「学習転移」という視点から—」

5.[卒業論文発表](九州大学)出水理子(B4)「勉強目的以外の学習塾機能を巡る計量社会学—通塾経験の有無により生じるソーシャルサポート感の違いを手掛かりに

一]

コメンテーター:丸山和昭(教員、名古屋大学)

6.[修士論文発表](名古屋大学)鬼頭裕介「教員養成が抱える 目的養成とキャリア教育の相剋—卒業生と教職員への聞き取りから探る共存の可能性」

コメンテーター:岡靖子さん(PD、九州大学/愛媛大学)

7.[自由研究発表](名古屋大学)陣田内美(D3)「米国コミュニティカレッジにおける留学生受け入れ担当教職員の認識-他者化概念に着目して-」

8.[自由研究発表](筑波大学)梅津静子(D1)「トルコ共和国における国際バカロレアディプロマプログラムの独自性—学校設定科目に着目して—」

9[卒業論文発表](九州大学)大石百華さん(B4)「大衆化し多義化した「推し」の計量社会学—「推し」の有無から生じる認識の齟齬に着目した多変量解析—」

コメンテーター:長創一郎(教員、武蔵野大学)